



「ロータリーは  
分かちあいの心！」  
2007-2008 年度 RI テーマ  
RI 会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン  
第 2640 地区ガバナー 平原祥彰



# 海南東ロータリークラブ

## ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

## 第 1533 回例会 20 年 6 月 16 日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」
3. ゲスト紹介

米山記念奨学生 呉 育羅 様

### 4. 出席報告

会員総数 69 名 出席者数 41 名 出席免除会員 1 名  
出席率 61.19% 前回修正出席率 73.53%

### 5. 会長スピーチ



会長 山名正一君  
米山奨学生の呉育羅さま、ようこそお越しくださいました。

過日、岩手・宮城地区マグニチュード 7、2・震度 6 という中国・四川の地震と同程度の地震が発生しました。今朝の新聞によりますと死者が 6 名、負傷者 10 数名が発生したようですが、過去の阪

神淡路大震災の教訓が生かされ、政府・自衛隊・消防署・警察等の初動の行動が素早く大事に至らなかったと思います。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに負傷者の方の早期のご回復を願います。

関連することですが、6 月 11 の理事会において中国・四川の地震並びにミャンマーのサイクロン被害者に対して、義援金を贈ることに決まりました。後ほど社会奉仕委員長から詳細を説明していただきますが宜しくお願いたします。

本年、当クラブからの参加者はいませんが、今ロサンゼルスにおいて国際大会が開かれています。一度皆様とともに参加したいと思います。

この後、先日来の I・D・M での検討事項を報告していただきます。宜しくお願いします。

### 6. 委員会報告

#### ○社会奉仕委員会

ミャンマーサイクロンの被害、中国四川の大地震への募金お願いします。[募金箱]



### 7. 幹事報告

○メーキャップ  
和歌山 RC 花畑重靖君 6/10 (火)

### 8. IDM 報告

#### ○1 組

一同席に着き、楠部リーダーの挨拶後、顔を見渡すとロータリーを知り尽くした高齢者ばかり、話し合うテーマはあるのだが食事をしながらにしようと言うことで始めました。

以下話題を簡条書きにしますと、

1. やはりメンバーに若い会員を入れて欲しかった。若いメンバーの思い、意見を聞きたいから。
2. 厳しい経済状況の中で会費を納入している会員に「出席」をやいやい言うと言われそう。お金だけ出してくれればいい？
3. 会員増強の中で法人会員はどうなっているのか。増やしてみてもは？
4. 現在の状況では増強は減員した分だけ補充すればよいのでは。
5. 奥様誕生日の「生花」は 8 月の月は暑さで花は 3 日ともたない。鉢植えにして欲しい。それに会長、又は親睦委員長からのメッセージを添えてはとの提案あり。

入会について入会金を安くしては、また、無くしてはとの声がありました。

#### ○2 組

2 番目の年長組で平均年齢が約 70 歳、皆さんロータリー暦も長く、例会出席は生活のプログラムに組み入れられている方がほとんどで、今日 IDM に出席されているメンバーはほぼ 100% の出席率になっています。

最近出席率が下がってきているのは事実ですが、出席簿を見てみると出ている方は 100% 近く出ている

#### 四つのテスト

- ① 真実かどうか    ③ 好意と友情を深められるか  
② みんなに公平か    ④ みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)  
電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：山名 正一    幹事：上芝 良造    SAA：上野山 雅也

るし、出の悪い方は50%以下と極端に分かれています。欠席癖がつくと、クラブでは今どういうことが行われているのか分からなくなり、ますます足が遠くなる結果となります。

提案として、欠席者にもロータリーの友、週報、卓話の原稿、所属している委員会の内容など届けるようにして、関心を喚起するようにはと考えます。

### ○3組

#### ①出席率の向上について

1. クラブの上層部から厳しく出席するように言わないと、出席率は上がらない。
2. 以前、あまり出席率の良くない会員に大きな役を依頼したら出席率が良くなった。
3. 現在の例会は双方向でなく、一方向性である。双方向に持って行って例会をもっと充実したら出席率の向上につながるのではないかと。
4. あまり出席を強く言うと退会する会員が出てくる。出席率が高いほうが良いのは当然であるが、現状を見ると出席率に関してはある程度柔軟性を持って対処することが必要である。
5. 例会を欠席している会員に、月初めに出席を促すような案内と例会プログラム、週報を送るようにはどうか。

#### ②会員増強について

1. 会員増強は積極的に行う必要があるというのが一致した意見であるが、決定打に欠けているのが現状である。
2. 大阪のあるRCでは、入会したい人が多くて入会待ちの状態であるらしい。しかし、大部分のクラブは会員増強どころか減少の傾向のところが多いのではないかと。地区はこのような現状をどのように考えてどのような方向に持って行こうとしているのか。
3. 当クラブは会員も減少しないで安定した活動を継続しているが、これに胡坐をかいてはいけません。常に増強を積極的に心がけなくてはなりません。常に増強を積極的に心がけなくてはなりません。会社を定年退職した人、また定年退職して海南に戻ってきている人に入会してもらうような方法もあるのではないかと。

#### ③その他

- ・理事・役員人事に関しては、もっと新しい人に加わってもらって交流を図ることが必要である。
- ・週報をインターネットで行っていることは良いことであるが、インターネットをされない方も結構いるのではないかと。週報をデスクの各自の席に置くことも必要である。持って帰って読むこともできる。
- ・地区の財団の金の使い方に納得いかない。一時期、財団の金をゼロにしてもいいのではないかと。クラブの財団委員長になると資金集めのために、会員にお願いしなければならないのが現状である。また、頼まれた会員は、あの人に頼まれたらしょうがないとも思う。これは、米山奨学金も同じである。寄付は自発的に行われるものであって、委員長が会員にその重要性を伝える必要はあるが、個人的にお

願いすべきものではない。今後は会員の自主性に任せてどうか。来年度は財団・米山の寄付をゼロにして、例会のニコニコに入れてクラブの奉仕活動資金としてはどうか。

### ○4組

今のままでいいのではないかと。

早川さんが久しぶりに来て、社会保険の話をした。米山はいらないのではないかとと言う話があったが、私（上中）が今後担当になっているので協力して欲しい。後は楽しく食事をした。

### ○5組

出席者の向上の部分については、まず分析委員会を設立し意見を纏め分析をする事により、いま以上の出席率の向上を図れるような例会運営を行う。例えば出席率50%以下のメンバーを対象にした聞き込みを行い、全く参加したくない人と、例会に参加したいけど出来ないというメンバーの分類を行う。それにより出席率50%以下のメンバーの意識を知ることが出来る。また、例会についての聞き取りや意見を求め、例会やRCに刺激が無い！！とか魅力が無い！！という意見が多くなると、いま一度RCや例会の本来の趣旨からは離れていないか？など、もう一度見詰め直す機会を得ることができると考える。その他にも、夜間例会と昼間の例会の出席率を出す事により会員の動きを把握することができる。

会員増強については退会防止策と同じようなモノであるという意見が出され、RC全体問題であるという認識を深め、メンバー同士がクラブ内外での親睦を深め合い、新入会員に対しては、勧誘者が1年から2年くらいまでしっかりと面倒をみる、その外のメンバーは、例会や同窓会などであたたかい心遣いを施しRCにおける新入会員の居場所を設けてあげれば、退会者も減少し新入会員が、次の新入会員を勧誘するといった良い連鎖反応が起こると考えられる。しかし、新入会員を甘やかすのではなく、しっかりと指導やIDMの回数増加やRCが行う事業などの内容の充実を図り、そこに新入会員の参加を義務付けする事によりロータリアンの自覚を促すようにしなければならぬ。

その他の意見では、今の結婚祝いの花を切花で贈って頂いているのですが出来れば鉢植えにして欲しいという意見が出ました。

### ○6組

#### ①出席率の向上について

##### 最近出席率が悪い

- ・例会が楽しくないのではないかと。

##### 出席率を良くする為に

- ・例会の曜日を変更してはどうか。
- ・メンバーが出席しやすい曜日、時間帯。
- ・食事を今より良くしてはどうか。
- ・欠席の多いメンバーには何か役をやらせてもらってはどうか。
- ・欠席の連絡がない場合、弁当がもったいないので、



17日の本会議では、世界ポリオ撲滅推進計画におけるロータリーのパートナーであり、保健分野の世界的な専門家でもあるユニセフ事務局長のアン・ベネマン氏、米国疾病対策センター所長のジュリー・ガーバーディング氏、世界保健機関（WHO）事務局長のマーガレット・チャン氏が講演を行います。18日の本会議では、AIDS-Free Worldの共同責任者を務めるスティーブン・ルイス氏と、コカコーラ・アフリカ財団会長であるウィリアム・アシコ氏による講演が予定されています。

2008年RI国際大会が、アメリカ・カリフォルニア州ロサンゼルスで始まりました。15日午後、開会本会議では、2008年ロサンゼルス国際大会委員会委員長のレイ・クリンギンスミス氏の開会宣言、歓迎の辞、国際ロータリー副会長のマイケル K. マクガバン氏の歓迎のあいさつに続き、ロータリーのある国々の国旗入場が行われました。ロータリーの国際性を実感するひとときです。今回の大会では、ロータリー青少年交換学生が旗手を務めました。

ウィルフリッド J. ウィルキンソン RI 会長と家族の紹介のあと、RI 会長の基調講演をウィルキンソン氏は、「私たちの3万3,000のクラブの一つひとつが情熱をもち、誇りをもってロータリーの心を分かちあっています。国際大会では、ロータリーを分かちあうばかりではなく、ロータリーを祝賀するのです」と始めました。



「ロータリーといのは、分かちあうということなのです。例会でほかのロータリアンたちと毎週時間を分かちあいます。地域社会の人々と時間を分かちあいます。世界中の人々と分かちあいます。私たちの能力、私たちの専門知識、そのほかのいろいろなやり方で、分かちあおうというものなのです。世界中のロータリアンが愛をもって働き、健全な世界をつくらうと一丸となって働いているのです」と述べました。

今年一番の表彰は、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からの1億ドルのチャレンジ補助金でした。これ、とてもいいことだと思います。これはロータリーを語るものだと思います。まだ1セントもマッチするための募金活動を行わないうちから寄贈して下さったというのは、ロータリーの尽力に対する感謝の気持ちです。”



アイスランドの大統領が、ロータリーはほとんどすべての国からの平等に基づいた会員がいます。すべての人種、すべての信条をもった会員がいます。平和を本当に実現するためには、もっとたくさんのロータリアンが必要になるのではないかとおっしゃいました。この世にはもっとたくさんのロータリアンが必要です。もっと事業、活動に携わるロータリアン、喜びをもって人類のために活動するロータリアンが必要です。ロータリーが分かちあいの心を実践する過程で、本当にマジックが起こるのです。ロータリアンがイエスと言ったときにマジックが起こるのです。皆さまがイエスという言葉によって私の心は躍ります。皆さまが世界を変えているのです。2008-2009年度では、献身的な心をもって夢をかたちにするのです。皆さま本当にありがとうございます」と締めくくりました。

## 子どもたちに本をプレゼント！

今回の国際大会では、参加者に、子どもたちのための本を持参するように呼びかけられました。世界各国のロータリアンが持ち寄った、さまざまな言語の本は、子どもたちに贈られます。16日朝、第2回本会議に先立ち、ウィルキンソン会長は地元の子どもたちに絵本を読み聞かせました。途中で、絵本の中に書かれていることについて質問するなど、子どもたちとの楽しいひとときとなりました。



今大会において、24万2,624冊の本が集まり、ギネス・ワールド・ブック・レコードの判定者であるダニー・ガートン・ジュニア氏により、ギネス・ワールド・レコードが樹立したことを確認され、証明書が授与されました。

2008年ロサンゼルス国際大会委員長のレイ・クリンギンスミス氏、ホスト組織委員会のゲリー・ターナー氏に、記念の盾が贈られ、ウィルフリッド J. ウィルキンソン氏が感謝の意を述べました。

